

MUSEUM CRUISE GUIDE BOOK 2018 - 2019

「ミュージアム・クルーズ」

ガイドブック

2018 - 2019

21 



本書

- p.1 はじめに
 - p.2 「ミュージアム・クルーズ」について
 - p.4 年間スケジュール
 - p.6 来館前の準備
 - p.8 当日の流れ
 - p.10 学校での展開例
 - p.12 クルーズ・クルーについて
-

ポスター

- ① 「まるびいを探検したよ」(児童の活動写真)
- ② 「まるびい」でみんなが感じて考えた
まるびいへのお手紙：ことば編
- ③ 「まるびい」でみんなが感じて表現した
まるびいへのお手紙：イラスト編

* 「見ることの冒険」「アジアの風景／栗津潔、マクリヒロゲル5」が裏表になっています。

「ミュージアム・クルーズ」の 豊かな時間のために 一本書の使い方

「ミュージアム・クルーズ」は、金沢市内のすべての小学4年生を美術館へ招待するプログラムとして、今年で14年目を迎えました。

本書は「ミュージアム・クルーズ」に関わる学校の先生方や、作品鑑賞プログラム・メンバーの「クルーズ・クルー」、美術館での活動に関心のある方にむけて、このプログラムの目的や流れについて2018年度の活動を元に紹介するものです。初めて参加する学校の先生やクルーズ・クルーが安心して子どもを見守れるように。経験ある先生やクルーズ・クルーがそれぞれの準備や展開を相互に理解することで、美術館で子どもたちの楽しい学びの時間をつくるヒントになるように。そんな思いが本書には込められています。

また本書のほかに、2018年度の活動記録として3種類のポスターを制作しました。1枚目は「ミュージアム・クルーズ」での子どもたちの様子の写真をまとめたもの、2枚目は「まるびいへお手紙を書こう」というアンケートから抜粋した言葉、3枚目は心にのこった風景を描いたイラストを集めたものです。3種類のポスターは前期と後期に来館した学校のもの裏表になっています。全種類を並べたり1枚ずつ掲示したりと学校の状況にあわせて使うことができます。「ミュージアム・クルーズ」で美術館を訪れた子どもたちが思い出を振り返り、今後「ミュージアム・クルーズ」で美術館を訪れる子どもたちの期待を膨らませるものとなることを願っています。

本書とポスターが、学校の先生方や子どもたちやクルーズ・クルーにとって、美術館をそれぞれの学びの場として活用するための一助となれば、幸いです。

金沢市内小学4年生全児童招待プログラム

ミュージアム・クルーズ



概要

金沢21世紀美術館は、活動の指針のひとつに「子どもたちとともに成長する美術館」を掲げています。その一環として2004年の開館時に「ミュージアム・クルーズ・プロジェクト」を実施し、金沢市内の小中学生約4万人が美術館を訪れました。この経験を活かし、2006年より金沢市内の小学校4年生を学校ごとに美術館に招待するプログラム「ミュージアム・クルーズ」を継続して行っています。「ミュージアム・クルーズ」は、子どもたちが少人数のグループでコレクション展を鑑賞し美術館を散策することで、感じる心を養い、地元の美術館に慣れ親しむ機会を生み出します。金沢市教育委員会や作品鑑賞プログラム・メンバーの「クルーズ・クルー」など様々な方々の協力のもと、「金沢で生まれ育った子どもはみな、大人になる前に美術館に行ったことがある」という社会環境をつくります。

主催：金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]
共催：金沢市教育委員会
助成：金沢ライオンズクラブ

2018年度データ

期間

前期 2018年5月15日(火)
- 6月22日(金)

後期 2018年11月13日(火)
- 2019年1月25日(金)
のべ41日間実施

参加

金沢市内の小学校や
特別支援学校 62校、4,393名
(内訳：児童4,171名+引率222名)

作品鑑賞プログラム・メンバー
「クルーズ・クルー」77名

目的

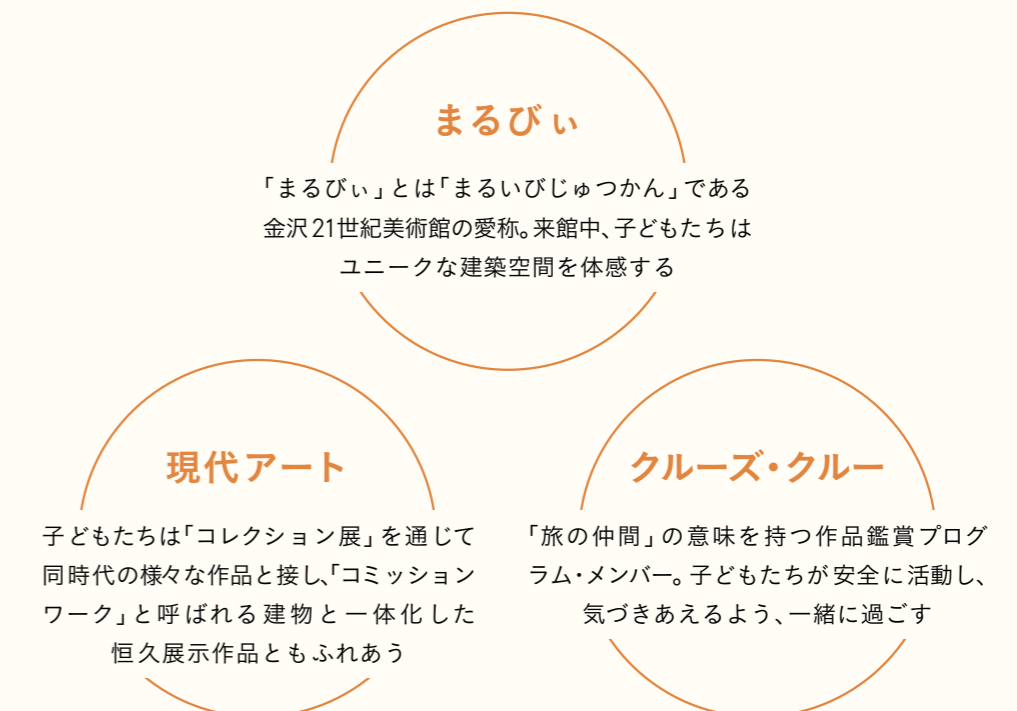
美術館における作品鑑賞を通じて “感じる心”を養う

- ・金沢21世紀美術館とコレクションを身近に感じ、大切に思う心を育てる
- ・世界のアーティストの様々な発想と表現に五感と身体全体で出会い、触れ合うことによって感受性、創造性、自主性、思考力、表現力を育てる
- ・色々な感じ方、見方、考え方、表現の仕方があることを知り、他の人の気持ちや考えを思いやる想像力とコミュニケーション力を育てる
- ・アート(美術)が、世界の状況、社会の動き、情報、科学、文学、音楽、ダンス、演劇、人と人との関係や毎日の暮らしに深い関係をもっていることを知り、幅広い視野で学ぼうとする意欲や態度を育てる
- ・公共の空間でマナーを守りながら自由に楽しむ力を育てる

美術館における“子どもの鑑賞活動”を 継続的に実施する

- ・美術館と学校による協力関係の継続・強化
- ・美術館における体験と、学校における授業との有機的な連携の推進

「3つの出会い」が 子どもたちを待っている



年間スケジュール

「ミュージアム・クルーズ」に関する1年間のスケジュールを2018年度を例に紹介します。

2018年		2019年	
4月	5月	6月	7月
学校との連携		5/8, 16, 30, 6/8 会場事前視察 p.6-7へ	5/15 - 6/22 「ミュージアム・クルーズ」学校来館(30校) p.8-9へ
クルーズ・クルー		4/18, 21 説明会 研修 ①美術館と作品に出会おう(4/18, 21) ②見ることは学ぶこと1(4/25, 26) ③「人と人が触れ合う」ことの根っこ(5/11, 12) p.12-14へ	6/3 コレクション展 出展作家 スタジオ訪問 6/22 前期修了式 p.12-14へ
コレクション展		金沢21世紀美術館 ボランティアスタッフ講座 「新しい自分と仲間を見つける10のレッスン」(全10回、クルーズ・クルーは一部必修講座あり) p.13-14へ	
1/27 - 6/24 コレクション展「見ることの冒険」		11/3 - 5/6 コレクション展「アジアの風景 / 栗津潔、マクリヒロゲル5」	

2018年		2019年	
9月	10月	11月	12月
学校との連携		10/10 検討会1 p.4へ	11/6, 14, 21, 12/7, 19 会場事前視察 p.6-7へ
クルーズ・クルー		10/26, 27 説明会 研修 ①新しい仲間と出会おう、 ミュージアム・クルーズをもっと知ろう(10/26, 27) ②10歳ころってどんとき?(11/7) ③見ることは学ぶこと2(11/9, 10) ④「コレクション展 アジアの風景 / 栗津潔、マクリヒロゲル5」をみて話し合おう(11/10, 12) p.12-14へ	2/14 検討会2 p.4へ
コレクション展		11/13 - 1/25 「ミュージアム・クルーズ」学校来館(32校) p.8-9へ	
1/27 - 6/24 コレクション展「見ることの冒険」		1/25 後期解散式 p.13-14へ	
11/3 - 5/6 コレクション展「アジアの風景 / 栗津潔、マクリヒロゲル5」			

検討会

趣旨：
子どもたちが美術館で安全でさらに有意義な体験をできるように、金沢市教育委員会が推薦する検討委員の先生5名と美術館のスタッフが、プログラムの内容を検討・監修しています。



- 検討内容：
- ・ガイドマップの内容について
 - ・会場事前視察について
 - ・学校での事前・当日・事後の取り組み
 - ・来館時の対応について
 - ・記録物について
- その他

2019年度スケジュール

学校来館期間：2019年10月23日(水) - 12月19日(木)、
2020年2月4日(火) - 2月14日(金)
クルーズ・クルー活動期間：9月末～2月中旬

※改修工事のため全館休館します。2019年12月20日(金) - 2020年2月3日(月)

会場事前視察

趣旨

「ミュージアム・クルーズ」実施に際して子どもたちの来館前に、学校の先生と美術館スタッフが一緒に会場や作品を確認し、安全かつ有意義な美術館訪問を実現することを目的とします。

対象

子どもたちを引率する予定の先生

内容

- ・学校ごとのグループ数や時間などの調整
- ・コレクション展の下見と事前・事後指導へ向けた意見交換
- ・集合場所や自由時間の活動場所、お手洗いや救護室等の確認
- ・紹介DVD(p.7)の観覧と持ち帰り

ポイント

- ・日々の生活で得た知識や経験を結びつけながら子どもたちは鑑賞をします。ぜひ、学校での授業に活用できるテーマや素材がないかご検討ください。
- ・受付で当日に使用するガイドマップをお渡しします。学校に持ち帰り事前指導に用いるか、当日の自由時間前に配布するかをご検討ください。



ご来館に際して(視察資料より)

来館前

- 子どもたちのグループを編成してください。
 - ・グループ行動：1班8名程度、会場事前視察時に人数をご相談します。(p.8)
 - ・自由行動：小回りが利くよう、グループ行動の班を2つに分けることを推奨します。(p.9)
- 会場事前視察でお渡しする、事前確認シート・写真撮影の許諾書をご記入の上、FAXでお送りください。
- 学校での事前指導をお願いします。
 - ・当日の活動の流れ
 - ・活動場所
 - ・美術館での約束：
 - 1, 歩いて行動しよう
 - 2, 作品にさわらないで見よう
 - 3, 声の大きさに気をつけよう

*館内ラックや情報ラウンジのチラシは持ち帰らない
*カフェレストランとミュージアムショップは入らない

当日

- 子どもの持ち物と服装にご配慮ください。
 - ・荷物預かりの受け渡しをスムーズにするため、軽装でお越しください。
 - ・クルーズ・クルーが名前で呼びかけられるよう、ネームを着用ください。
 - ・館内は飲食不可です。水筒を持参される場合は外の芝生広場で飲んでください。
- 集合場所では、向かって左からクラスごとに1班2班……と整列してください。
- 子どもたちの鑑賞風景の撮影を希望される場合は事前に申請のうえ、お渡しする許可証を身につけて撮影してください。
- 展示室にはB4以上の大きさの荷物を持ち込めません。先生のお手回品は100円返却式のコインロッカーをご利用ください。

来館後

来館時に子どもたちや学校関係者向けアンケートをお渡しします。参加後1週間を目安にメールかまたは郵送でお送りください。

「ミュージアム・クルーズ」のツール

学校や美術館、家庭でも活動についての理解を深められるようにツールを制作しています。

ガイドマップ

子どもたちが主体的に鑑賞を行う手助けとなるツール。活動範囲やマナーの確認ができるほか、作品を鑑賞するヒントとしても利用できます。B4判8つ折りで小学4年生の手やポケットにも収まりやすいサイズで制作されています。

- 活用例
- 学校で：事前指導や来館後の振り返り
 - 美術館で：ミュージアム・クルーズ活動中、後日来館時
 - 家庭で：ミュージアム・クルーズの紹介や振り返り



デザイン：大溝裕(Glanz)

外側：館内地図、プログラム紹介と館内での約束、名前欄ともう1回券、無料で鑑賞できる場所や日の紹介、企画概要と外観写真、表紙、



内側：展示場所、作品別の見出し、作品写真、作家作品データを掲載

「ミュージアム・クルーズ」紹介DVD

子どもたちへ美術館での活動内容や魅力を伝え、引率者が事前指導に役立てられるよう制作。2分半の短い映像は写真を用いてイメージが膨らむようになっています。



制作：金沢21世紀美術館 デザイン・編集：オフィスブランカ

当日の流れ

先生、クルーズ・クルー、美術館スタッフが協力して行う「ミュージアム・クルーズ」。
2018年度の活動風景写真と合わせ標準的な1日の様子を紹介します。

午前	午後						
9:15	13:00	クルーズ・クルー集合、打ち合わせ その日に来館する児童の人数や自由時間の過ごし方、当日の館内の状況などを共有します。鑑賞のポイントを話し合います。			子どもたちだけで館内や広場を散策 (自由時間 約30分) ガイドマップを使って自由時間の過ごし方について確認をすると、子どもたちだけの時間です。クルーズ・クルーは各所で子どもを見守ります。	11:00	14:30
↓	↓					↓	↓
9:50	13:20	子ども到着、全体挨拶 集合場所にグループごとに整列します。上着などの荷物がある場合は、ここで預かります。美術館スタッフから「ミュージアム・クルーズ」についてお話をします。				11:30	15:00
↓	↓					↓	↓
10:00	13:30	クルーズ・クルーとコレクション展を鑑賞 (グループ行動 約60分) グループごとにクルーズ・クルーと挨拶をし展示室へ出発。作品を見て、感じて、話し合い、子どもたちの意見をクルーズ・クルーが引き出します。				11:40	15:10
↓	↓					↓	↓
↓	↓				子ども出発 クルーズ・クルーに見送られ、子どもたちは美術館を出発します。	11:45	15:15
						↓	↓
					クルーズ・クルー振り返り会 子どもとの活動で気がついたことを共有し、次回の活動へとつなげます。	12:00	15:45
					クルーズ・クルー解散		

*上記は標準的な時間配分で、各学校の状況に応じて調整をしています

「ミュージアム・クルーズ」に参加するにあたり、各校では様々な取り組みが毎年行われています。今年度も「子どもたちでミュージアム・クルーズ実行委員会をつくり、めあてや約束を考え、挨拶などの役割分担を行う」など自主的な学びを育む活動がありました。その中から、ユニークな事例として4校の取り組みを紹介します。

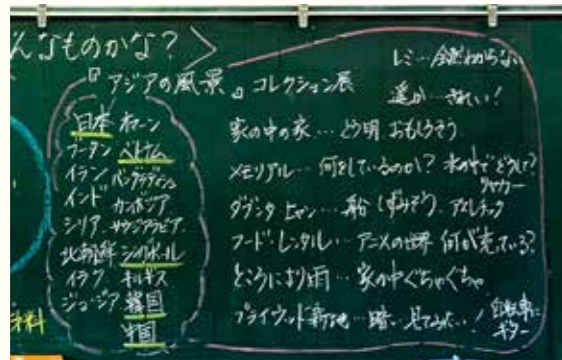
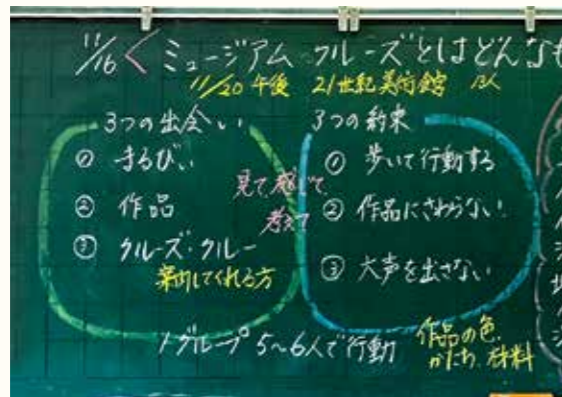
学活

事前

テーマについて問いかけ、鑑賞の視点を与える

犀川小学校（久田公平先生）

大型テレビでDVDを視聴後、プログラムの概要や活動の内容をよりよく理解するための振り返りをしました。その後、世界地図を活用して、アジアについて学習し、2018年度のコレクション展のテーマ「アジアの風景」をより深く想像するためのヒントとなる問いかけを板書で共有し、鑑賞の視点を与えました。



図工

事後

鑑賞体験をもとに立体を制作する

中央小学校（齊藤江利子先生）

絵の具でいろいろな表現技法を試しながら、学んだ技を使って、自分のイメージした表現を考えました。その上で美術館で鑑賞したイザ・ゲンツケンの《ダニエル》をもとに自分を立体で表現することを試みました。

題材名:「ぼくはダニエル。ぼくは、わたしは.....?」

関連する教科書題材名: 日本文教出版『小学校 図画工作 3・4下』「絵の具でゆめよう」

授業時間: 5時間

学習指導要領との関連:

- ◎発想構想の能力 いろいろな表し方でできる形や色、組合せやできた紙を使って自分をイメージした表現を考える。
- ◎創造的な技能 色を重ねたり、絵の具を混ぜたりするなど、いろいろ試しながら表し方を工夫したり、模様の紙の組合せ方を工夫したりする。



図工

事後

鑑賞体験をもとにさまざまな木を用いて作品をつくる

不動寺小学校（塩谷尚之先生）

木のぬくもりに触れながら楽しんでつくることを目的に、「ミュージアム・クルーズ」の体験を参考にして5種類ほどの木材を組み合わせて作品づくりを行いました。展示室4のインスタレーション（宇治野宗輝《プライウッド新地》）を思わせるような、実際に音が鳴るギターなどが出来上がりました。

題材名:「ギコギコクリエイター」

関連する教科書題材名: 日本文教出版『小学校 図画工作 3・4下』「ギコギコクリエイター」

制作時間: 6時間

学習指導要領との関連: 「A 表現」(2)

造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、全学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること。



国語

事前 事後

鑑賞体験をもとに文章をつくる

小坂小学校（橋本雅美先生）

文章の組み立てについて考えるために、「アップとルーズで伝える」の学習を通して、文章と写真の対比効果や接続語に着目することを事前に学びました。その上で美術館での鑑賞体験をもとに、自分が一番印象に残ったことを、文章の構造と作品の写真が対応するように考え、文章として表現しました。

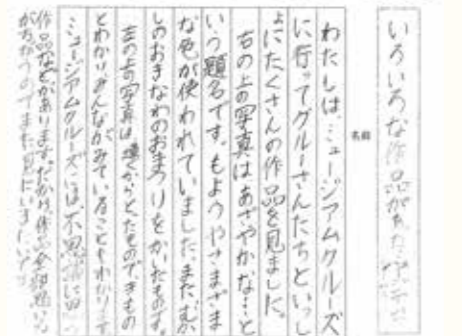
題材名:「アップとルーズで伝える」

関連する教科書題材名: 光村図書『小学校 国語 4下』「アップとルーズで伝える」

授業時間: 2時間

学習指導要領との関連: 構造と内容の把握

段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例などの関係などについて叙述をもとに捉えること。



概要

「ミュージアム・クルーズ」で美術館を訪れる子どもと作品を鑑賞し、美術館体験をサポートします。解説ボランティアではなく、旅の仲間として子どもたち同士の対話を促し、安全を見守ります。

応募条件

20歳以上の方／説明会・研修に全て参加できる方／月2回以上、学校対応可能な方／無償での活動を了承した方

2018年度クルーズ・クルー（50音順、敬称略、77名）

- | | |
|--|---|
| 荒川由紀子、井出温美、井上藍、今井美保子、今村良栄、岩垣豊、鶴沢一子、梅田美枝子、遠藤カヨ、大辻尚美、大西智子、大西美樹子、大野広輝、沖由香子、小野純子、表洋樹、喜多久恵、串田孝子、小々高久美子、小坂孝志、小西均、小室正子、紺谷由香、斎藤節子、左古玲子、澤井美恵子、柴田美千代、高井悦子、高井ひとみ、高岡幸子、高木寿美子、高柳好恵、武野一雄、竹林あおい、多長桂子、知田真湖都、塚本浩子、寺尾ユリ子、豊蔵健夫、 | 中島広志、中戸恭子、長友由紀、中西勝之、中西奈保子、長野夏実、中浜淳、中山史規、丹尾明代、西川正一、西野涼子、西野文子、仁歩義晴、橋本和栄、橋本曜、長谷川雄大、土生美佐子、林朋子、樋口裕一、平尾初美、福田外喜子、藤本夏実、正木真紀子、松本収子、丸田外美江、三浦靖子、水谷進、湊雅子、宮丸慶子、宮丸静夫、向井淳子、村井淑子、室住茜、安田玲子、山本悦子、吉野依子、六田正紀、和田伸子 |
|--|---|



前期修了式



後期解散式

研修

子どもたちと出会う前に、クルーズ・クルーは研修として鑑賞や意見交換を行います。

「ミュージアム・クルーズの活動をイメージする」

実際に活動する場所を見て回りながら、クルーズ・クルー同士で意見交換をします。

「ひとりで見る、みんなと見る」

個人として展覧会や作品と出会い味わった後、クルーズ・クルー同士で作品を見ながら対話をし、多様な見方で鑑賞を深めます。

テーマ例

- Q.1 初めて出会う子どもたちとどうやって打ち解ける？
- Q.2 子どもたちと美術館で作品を見る前に、どこでどんなお話をします？
- Q.3 グループで作品鑑賞をする時に心がけることは？（見るとき／話すとき／移動するとき）
- Q.4 自由行動の前に子どもたちと何を話します？
- Q.5 自由行動の時はどのように過ごす？（見回りや声のかけ方／見守る場所）

視点の例

- ・この作品には何が見える？（色・形・大きさなど）
- ・この作品を見て感じたことは？（印象・気持ち・物語など）
- ・作者はどのように表したのだろうか？（素材・技法・制作時間の想像など）

金沢 21世紀美術館 ボランティア講座

「新しい自分と仲間を見つける10のレッスン」

今年度は金沢21世紀美術館の全ボランティア向けの講座シリーズを新設し、その一部をクルーズ・クルーの必修・推奨研修としました。

必修 「見ることは学ぶこと」

日程：前期 4/25, 4/26 後期 11/9, 11/10

講師：神野真吾（千葉大学准教授）

「アートを通して異なる文化を学ぶこと」や「社会と芸術のつながり」について鑑賞と学習指導要領との繋がりや、脳科学の知見など様々な角度から学びました。ひとりではなく複数人でみるこの意味や、個人的な知識や体験から鑑賞をつくりあげることの可能性と専門的知識を用いることで見える作品の広がりについて、異なる文化に属する作品の鑑賞を例に考えました。



展示室での意見交換

必修 「『人と人が触れ合う』ことの根っこ」

日程：前期 5/11, 5/12 後期 12/21, 12/22

講師：柏木陽（演劇百貨店代表）

人と向きあうときの佇まい、人との距離の取り方、自分の身体が人に与える印象など普段は無意識でしていることについて改めて自覚し、それらを意識して使うためのワークショップを行いました。ミュージアム・クルーズで初めて出会う子どもたちの表情や仕草、呼吸に潜むメッセージを読み取り、個々に合わせた適度なコミュニケーションをとるための姿勢を学びました。



体の動きだけで単語を表す様子

推奨 美術館で「触れるように見る」ワークショップ

日程：8/25

講師：塩瀬隆之（京都大学総合博物館 准教授）

「シマウマの縞って描けますか？」日頃、いかに知ったつもり、見ているつもりであるかがあぶり出されたレッスン。石を触って当て合うゲームや、喜怒哀楽どの言葉が合うかをイメージするワークなど石にじっくり向き合いました。「触るように見る」と、何の変哲も無い石も興味深く見えてきます。塩瀬先生が子どもたちとの場づくりで心がけている「手を出しすぎず、口を出しすぎず、見守る」という言葉に参加者が強く頷く姿が見られました。



シアター21でのワークショップ風景

推奨 美術探検 - 10歳の人が図工でなく 美術で世界を見るドキドキ

日程: 9/21, 22

講師: 齋正弘 (元宮城県美術館教育普及部長)

「美術の美はびっくりのビ。」宮城県美術館のプログラムを例に、美術館は作品だけでなく、建築も全部使って、大人や子どもたちの驚く力を引き出す場だと齋先生は言います。レッスンの中で、実際に展覧会を見たり、美術館を探検したりしながら、鑑賞を通して自分の経験や知識を使って内面の世界を拡大していくことの意味を学びました。



齋先生と館内ツアー

必修 「10歳ごろってどんなとき?

発達心理学から子どもについて考える」

日程: 11/7

講師: 浅川淳司 (金沢大学准教授)

大人へ成長する大切な時期といわれる10歳前後の子どもがどのような発達段階にあるのかを学びました。自分自身を俯瞰的に見るメタ認知の発達により、自分の考え方などに自覚的になり状況に合わせて柔軟な行動ができるようになること、子ども同士で集団を形成し、集団の中で生活する知識やスキルなどを学ぶ時期であることを知りました。



浅川先生に質問をするクルーズ・クルー

推奨 「スケッチから考える『見るって何?』」

日程: 11/19, 11/26

講師: 大森啓 (金沢美術工芸大学教授)

展示室で作品をスケッチして「目の前にあるもの」と「見ていると思うもの」について考えました。作品やアングルなど意識的に人が選ぶものと、視野に入っているが描かれないものなど無意識に選んでいるものの2つがスケッチには表れていました。人はそれぞれに見ているもの、見方の深さや広さが異なるということを体感しました。



ひとりひとり作品をスケッチする様子

クルーズ・クルーへのアンケートより

クルーズ・クルーは子どもたちとどのように過ごすかをひとりひとり考え、子どもたちと出会うたびに臨機応変に対応をします。そんな「旅の仲間」の工夫をアンケートの回答の一部からご紹介します。

Q.今年度の子どもたちとの活動で、あなたの行なった工夫や印象に残ったエピソードを教えてください

A.なぜ?を大切に、子どもの見ることや感じることの幅が広がるように、みんなで共有すること。私自身の発見したことや感じ方等に子どもを誘導しない、方向性や到達点を求めない。クルーズすることを謙虚に欲張らない。

A.手も口も出しすぎないこと。良い距離で見守ること。子供達を作品の中に巻き込む事。(想像する楽しみもご提案)

A.正解を求めるために美術館に来ているのではない。子供たちが観て感じたことをそのまま声に出せたらいいと思い「いいね」「すごいね」「すばらしい」「いいことみつけたね」など前向きな言葉掛けをし、なかなか言葉の出ない子の声も仲間に聞いてもらいたかった。(本当は自分の内なるところに感じる光のような物が少しでもあれば美術館はOKだと思います)

A.子どもたちが自分達のミュージアム探検だという意識を少しでも強く持てるような雰囲気づくりを考えてみた。

- ・友だちに話できることが見つかったら集合しよう。
- ・友だちのいい意見をひとつでもいいから見つけよう。
- ・友だちの話をしっかり聞いているかのチェックと聞く姿勢のチェック

A.クルー(大人)と子どもという関係ではなく、今まで以上に同じ目線で、仲間の一員として時間を過ごそうと思って活動しました。

A.「ふ〜ん?同じ考えの人は?」「違うよ!という人は?」「どうしてそう感じたのかな」などと子ども同士をつなごうとしたこと

A.展示室に入る前に中の情報を少し伝えておくすとすなりと鑑賞に入りやすい。(中にはスクリーンが3つあって順番に映像が上映されるなど)

A.自己紹介の時、好きな季節、好きな給食、お正月何が一番楽しかった?など一言添えて言うてもらうようにしました。

A.ガイドマップに書かれている言葉を鑑賞中に質問としていれること。後からガイドマップを見たときに「何のことかわからない」がないように。会話の流れを変えたり、視点の提案としても役立ちました。

A.彼らに鑑賞方法を委ねよう、と考えました。どんな面白い発想も、元々は馬鹿馬鹿しい発言から始まることの方が多いですから。我々、大人に必要なのは、そういったものを拾い上げるアンテナなのかもしれません。

A.手のかかる男の子が私を助けてくれたので、とてもうれしかったこと助かったことを伝えたくて心からお礼を言ったら、それ以降はその男の子は別人のようになってとても前向きに活動してくれました。心をこめた一言で伝わるのだと思いました。

A.もう1回券で再来してくれるお子さん、私が「あ、もう1回券で来てくれたのね」と声をかけると「どうして分かるんですか?」って驚いた。だって、クルーズマップを手にしてるんだから美術館の人はみんなわかってるよ〜(笑)

コレクション展 概要

2018年1月27日(土) - 6月24日(日)

コレクション展 見ることの冒険

会場：展示室1-6

出品作家：鈴木ヒラク、アニッシュ・カプーア、山崎つる子、モニック・フリードマン、
小金沢健人、角永和夫、トニー・クラッグ、リジア・クラーク、イザ・ゲンツケン、イエッペ・ハイン

2018年11月3日(土) - 2019年5月6日(月)

コレクション展 アジアの風景 / 粟津潔、マクリヒロゲル5

会場：展示室1-6, 13

出品作家：ス・ドホ、チェン・ウェイ、野口里佳、小西紀行、照屋勇賢、宇治野宗輝、笹本晃、
ザイ・クーニン、ジュン・グエン = ハツシバ、粟津潔

助成：公益財団法人野村財団 **NOMURA 野村財団**

金沢21世紀美術館 維持会員

SANAA事務所	前田印刷株式会社	株式会社 アドバンス社
米沢電気工事株式会社	株式会社 うつのみや	金沢ターミナル開発株式会社
ナカダ株式会社	公益社団法人 金沢市医師会	株式会社 計画情報研究所
金沢市農業協同組合	連合石川かなざわ地域協議会	株式会社 ビー・エム北陸
株式会社 福光屋	株式会社 金沢環境サービス公社	一般社団法人 石川県繊維協会
ヨシダ宣伝株式会社	医療法人社団 竹田内科クリニック	株式会社 大和
金沢信用金庫	株式会社 日本海コンサルタント	北陸東和冷暖房株式会社
株式会社 総合園芸	株式会社 アイ・オー・データ機器	アムズ株式会社
西日本電信電話株式会社 金沢支店	石川県中小企業団体中央会	株式会社 あまつぼ
株式会社 ヤギコーポレーション	能登印刷株式会社	ヨシダ道路企業株式会社
株式会社 北國銀行	株式会社 金沢舞台	株式会社 金太
一般社団法人 金沢建設業協会	北陸名鉄開発株式会社	イワタニ北陸株式会社
ニッコー株式会社	高桑美術印刷株式会社	末広フーズ株式会社
医療法人社団 健真会 耳鼻咽喉科安田医院	株式会社 浅田屋	北陸スカイテック株式会社
株式会社 メーブルハウス	北菱電興株式会社	辻商事株式会社
株式会社 マイブックサービス	株式会社 四緑園	アキュテック株式会社
公益財団法人 金沢勤労者福祉サービスセンター	株式会社 橋本清文堂	イカリ消毒株式会社
株式会社 浦建築研究所	カナカン株式会社	森平舞台機構株式会社
金沢中央農業協同組合	株式会社 かゆう堂	株式会社 クスリのアオキ
株式会社 グランゼーラ	株式会社 バルデザイングループ	アズビル株式会社
まつだ小児科クリニック	石川県ビルメンテナンス協同組合	北陸電話工事株式会社
公益財団法人 高岡市勤労者福祉サービスセンター	横浜エレベータ株式会社	株式会社 五井建築研究所
アルスコンサルタンツ株式会社	株式会社 ほくつう	金沢セメント商事株式会社
しま矯正歯科	株式会社 グッドフェローズ	株式会社 エイブルコンピュータ
協同組合 金沢問屋センター	日本海警備保障株式会社	ホクモウ株式会社
一般社団法人 MuU	株式会社 山越	医療法人社団 映寿会
三谷産業株式会社	田中昭文堂印刷株式会社	館みつ川
スーパーファクトリー	株式会社 金沢商業活性化センター	株式会社 山田写真製版所
株式会社 中島商店	株式会社 加賀麩不室屋	株式会社 ユニークポジション
株式会社 橋本確文堂	ベにや無何有	株式会社 ロフト 金沢ロフト
ヨシダ印刷株式会社	日本ケンブリッジフィルター株式会社	株式会社 鍛冶商店
株式会社 パークウェーブ	めいてつ・エムザ	株式会社 東急ハンズ 金沢店
株式会社 北都組	日機装株式会社	株式会社 木村硝子店
金沢市一般廃棄物事業協同組合	横河電機株式会社 金沢事業所	坪田 聡
金沢商工会議所	協同組合 日本ビジネスロードセンター	51% 五割一分
株式会社 竹中工務店 北陸営業所	有限会社 芙蓉クリーンサービス	林舎舎アップルカンパニー
一般社団法人 石川県鉄工機電協会	株式会社 インプレス 美術事業部	アイパブリッシング株式会社
大村印刷株式会社	株式会社 甘納豆かわむら	株式会社 ホクスイ
石川県勤労者文化協会	ArtShop 月映	(2019年2月現在)

2018年度
金沢市内小学4年生全児童招待プログラム
「ミュージアム・クルーズ」

主催：金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
共催：金沢市教育委員会
助成：金沢ライオンズクラブ

検討委員：(金沢市立小学校教諭5名、50音順)
表野香奈子、笠原奈保実、加納亜紀、佐々木孝裕、杉山麻子

金沢21世紀美術館スタッフ：
[ミュージアム・クルーズ担当]
高橋洋介、森絵里花、吉備久美子
[展覧会担当]
山下樹里、立松由美子、立花由美子、高橋律子

プログラム・アシスタント：
飯田崇子、伊藤みゆき、竹村菜穂美

ミュージアム・クルーズ ガイドブック 2018-2019
MUSEUM CRUISE GUIDE BOOK 2018-2019

編集：森絵里花、高橋洋介
編集補：飯田崇子、竹村菜穂美
アーカイブ：石黒礼子(金沢21世紀美術館)

デザイン：原田祐馬、西野亮介(UMA/design farm)

Copyright:
© Anish KAPOOR / © AWAZU Yaeko / © CHEN Wei / © Do Ho Suh / © Isa GENZKEN /
© Jeppe HEIN / © JUN NGUYEN-HATSUSHIBA / © KADONAGA Kazuo / © KOGANEZAWA
Takehito / © KONISHI Toshiyuki / © Monique FRYDMAN / © NOGUCHI Rika / © SUZUKI Hiraku /
© Tony CRAGG / © UJINO / © YAMAZAKI Tsuruko / © yuken teruya / © Zai Kuning

発行日：2019年3月31日

発行：金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
〒920-8509 石川県金沢市広坂1-2-1

印刷：大村印刷株式会社

禁無断転載 No part of this document may be reproduced in any form or by any means.

©2019 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa
All rights reserved.
ISBN 978-4-903205-79-3



金沢21世紀美術館
21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa